

DC12V人感センサ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

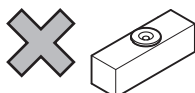
ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1-1、1-2、2-3等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

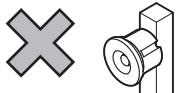
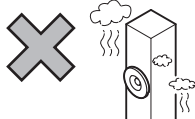
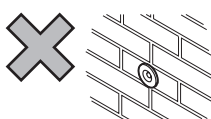
□ 施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 人感センサは柱材または天面板材取付け専用です。上向き、コンクリート壁、商品より小さい取付け面、浴室などの湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。器具の破損、ショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガのおそれがあります。



上向き設置

商品より
小さい取付け面浴室などの
湿気の多い場所

コンクリート壁

施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。
- 梱包明細票で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。

□ 施工チェックシート

※施工前に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

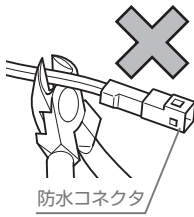
	施工前確認項目	施工後チェック (○/×)	不具合現象
①	灯具付属の防水コネクタは切断しないでください。 切断された場合は、保証対象外となります。		防水処理が不十分な場合、配線が腐食し不点灯につながります。
②	AC100Vに接続しないでください。 本灯具はDC12V仕様です。		過電圧により電子部品が故障し点灯しません。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工上のご注意

施工上のお願い

- 灯具の防水コネクタを切除しないでください。防水コネクタを切除する場合はワンプッシュロックを使用して結線してください。故障や不点灯の原因となります。



注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 取付説明書の順序通りに取付けてください。製品の強度など、性能が低下するおそれがあります。

電気配線工事について

注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・照明器具・電源ケーブルと合わせて使用してください。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。

梱包明細表

【1】 DC12V人感センサ			
名称	略図	員数	
		ON-OFF型	段調光型
人感センサ		1	—
		—	1
エリアカットシール		1	
結束バンド		2	
取付説明書 <EXM-093>	—	1	

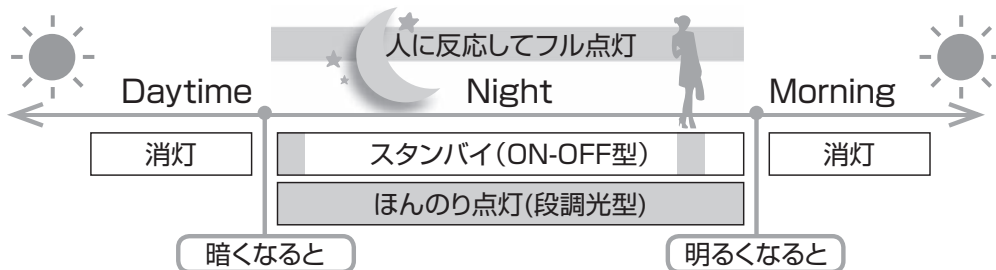
【2】 スタンド			
名称	略図	員数	
スタンド		1	
アンカー棒 φ8×200		1	

【3】 分岐ケーブル（2分岐）			
名称	略図	員数	
CN-CN 2分岐 100mm		1	

【4】 分岐ケーブル（2分岐）人感センサ専用			
名称	略図	員数	
CN-CN 2分岐 100mm		1	

動作サイクル

トランス電源ユニットの明るさセンサ機能を使用した場合



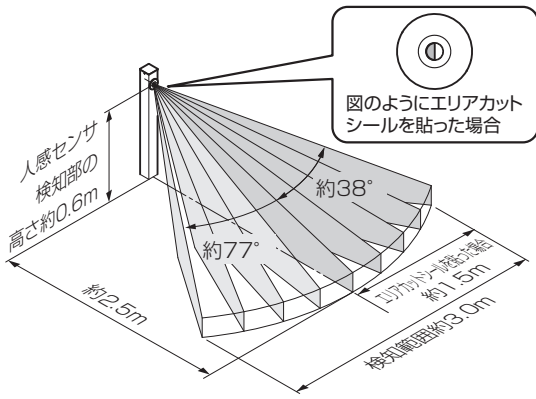
▼ ON-OFF型 ▼ 対応灯具：美彩 全機種(※1)

暗くなると照明がフル点灯(照度100%)状態になります。40秒間点灯し、スタンバイ(照度0%)状態に移行します。スタンバイ状態で人を検知すると、照明がフル点灯(照度100%)状態になり、検知範囲に人がいなくなってから30秒後スタンバイ(照度0%)状態に戻ります。
(注:連続点灯・段調光型への切替不可、点灯時間タイマー調整機能なし、※1 人感センサ(熱線センサ)付き照明との併用不可)

▼ 段調光型 ▼ 対応灯具：シームスライブライト、シンプルスライブライト、ウォールパライト、ビームスライブライト、ダウンライト、キューウォールライト、ユニバーサルダウンライト

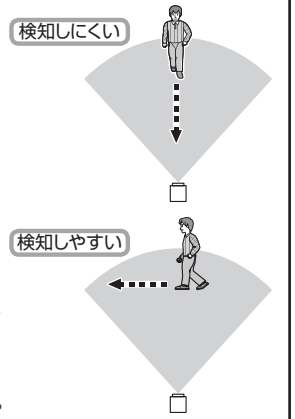
暗くなると1.5秒後、照明がフル点灯(照度100%)状態になります。40秒間点灯し、さらに3秒後スタンバイ(照度10%)状態に移行します。スタンバイ状態で人を検知すると、1.5秒後照明がフル点灯(照度100%)状態になり、検知範囲に人がいなくなってから30秒間点灯し、3秒後ほんのり点灯(照度10%)に戻ります。
(注:連続点灯・ON-OFF型への切替不可、点灯時間タイマー調整機能なし)

検知範囲



※周囲の気温や地面の状態などによって検知範囲
が変化することがあります。

- 人感センサに対し真正面から人物が近づいてく
る場合は検知しにくいことがあります。
- 人が静止している、夏場などで気温が体温に近
づく場合、検知しにくいことがあります。
- 着衣の表面温度は一般的に体温よりも周囲温度
に近いため、肌の露出部分が少ない場合は検
知しにくくなることがあります。
- 人以外にも照明器具、車、エアコンの室外機、
動物、風で揺れる植栽などを検知し反応する
ことがあります。
- 検知部が凍結すると、検知しにくくなります。
- 検知範囲内に壁や物がある場合、センサが遮断
され検知範囲が異なりますのでご注意ください。



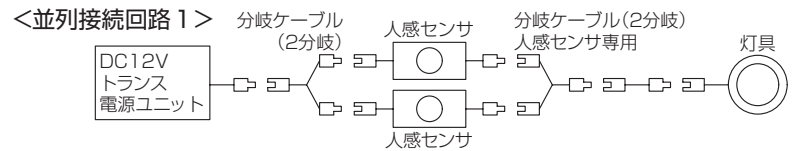
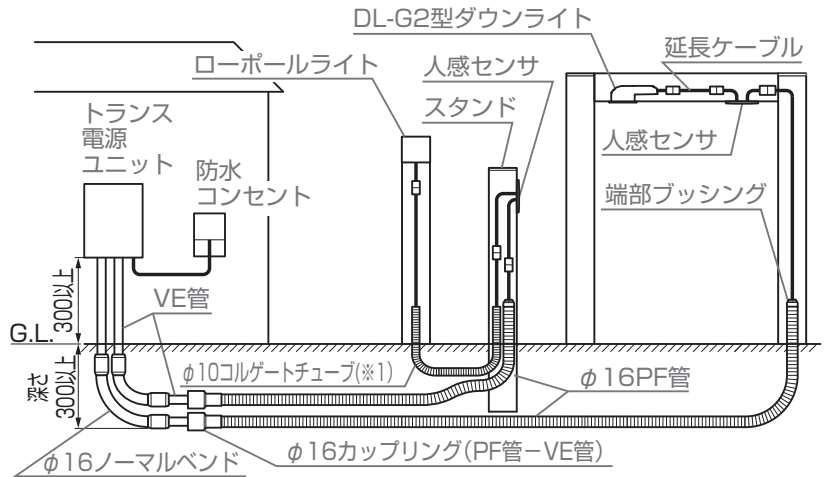
1 配線参考図

※人感センサ1個(1回路上)に対して、接続する照明器具の消費電力合計は35W以下としてください。

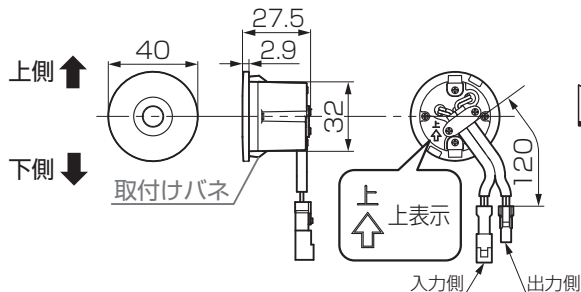
スタンドは地上(土中)配線接続も可能です。地中配管(コンクリートやモルタルで埋設)する場合、埋設管を敷設してください。
※現場に合わせて配管を敷設してください。

施工上のお願い

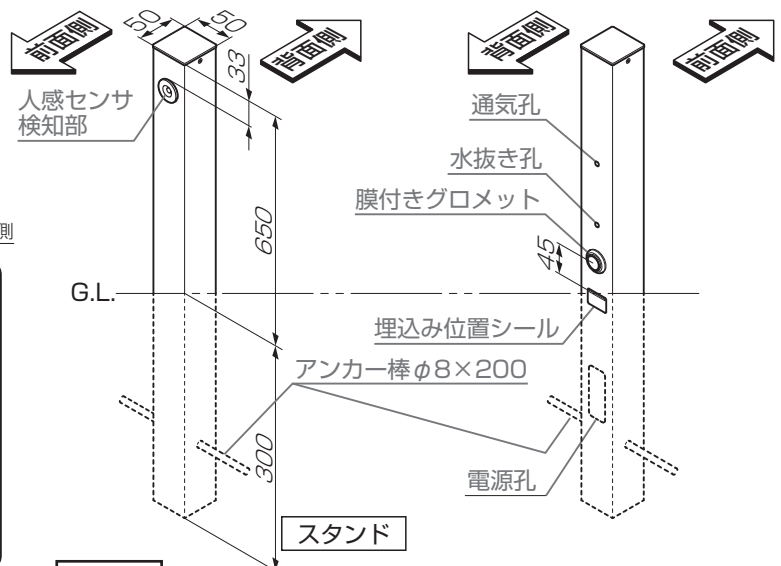
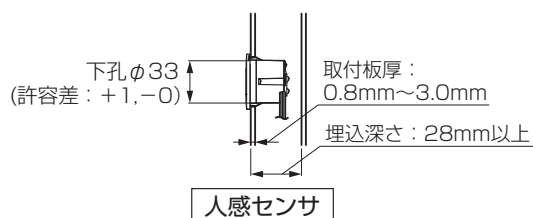
- 1回路の人感センサ並列接続可能数:最大8個
- 埋設管は必要な長さで切り落として、端部ブッ
シング取付け、もしくはパテ埋めしてください。
- φ10コルゲートチューブは露出および車の通る場
所で埋設しての使用はしないでください。(※1)
- 同一回路上の灯具を同時に制御することはできま
せん。
- 入切スイッチと段調光型を並列接続した場合、ト
ランス電源をONにする際に入切スイッチがOFF
状態であることを確認してください。またトラン
ス電源ON後、2.0秒は入切スイッチをONにしな
いでください。センサ設定が終わらず、段調光
状態にならない可能性があります。トランス側の
電源をリセットすることで解消されます。



2 基本寸法と各部の名称



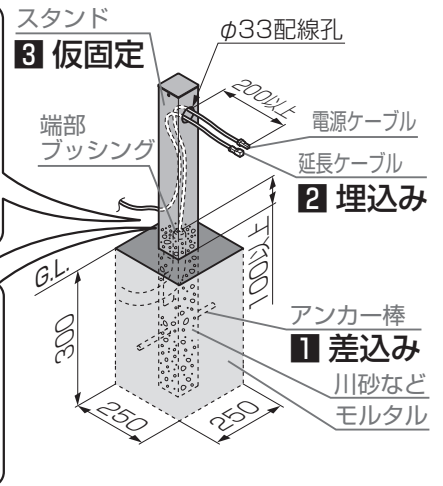
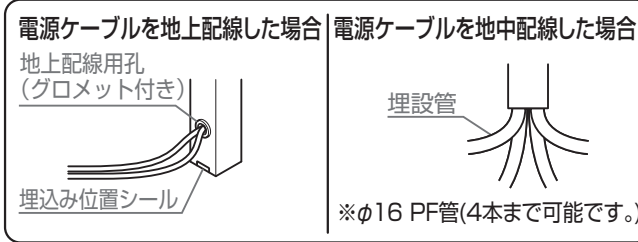
- 施工条件
下図の条件を満たす場合に取付け可能です。



3 スタンドへの取付け

3-1 スタンドの埋込み

- 1: スタンドにアンカー棒を差込み
- 2: 電源ケーブル・延長ケーブルをφ33配線孔から引き出し、埋込み位置シールのG.L.ラインまでモルタルで埋込み
- 3: スタンドが倒れないように仮固定



施工上のお願

- スタンド内に川砂をG.L.より高く埋込んでください。
- 地上線用孔(グロメット付き)はふさがらないでください。

端部ブッシングの取付け

- ① ケーブル径に合わせてブッシングの先端を切断します。
 - ② ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。
 - ③ ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。
- ※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。



3-2 人感センサの取付け

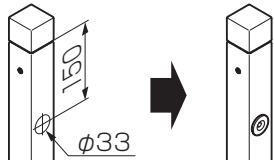
- 1: 取付けする柱材(天面)の条件を確認
※板厚: 0.8mm ~ 3.0mm/埋込深さ: 28mm以上
- 2: 柱にφ33の穴加工(許公差: +1, -0)
- 3: トランス電源ユニット側のケーブルと照明器具側の延長ケーブルを引出す
- 4: トランス電源ユニット側のケーブルを入力側へ、照明器具側へつなげる延長ケーブルを出力側へ取付け
- 5: ケーブルを結束バンドで固定

施工上のお願

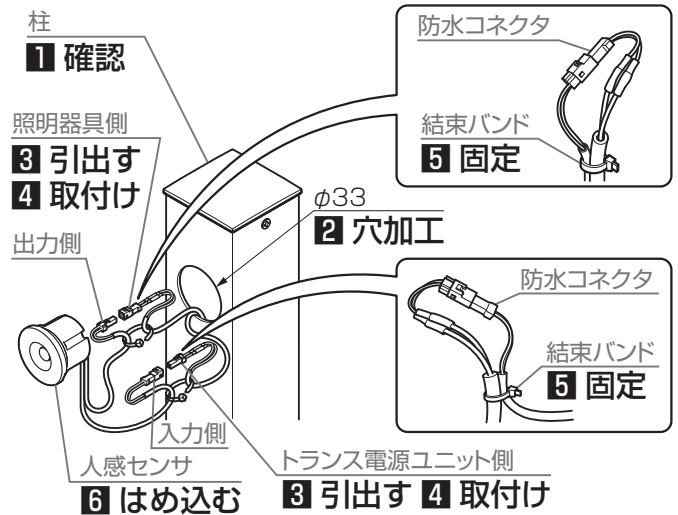
- 防水コネクタが抜けるのを防ぐため、必ず結束バンドで固定してください。

- 6: 人感センサ本体を柱材(天面)へはめ込む

<ローポールライトに取付ける場合>

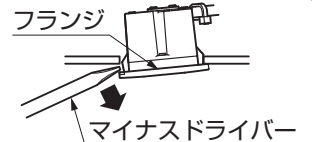


※鏡面(SUS304)柱の場合は、ステンレス用ホールソーをご使用ください。



メンテナンス方法

人感センサを取外す場合は、マイナスドライバーをフランジに引っ掛けて取外してください。



4 人感センサの動作確認と検知範囲の調整

- 1: トランス電源ユニットを常時ON(※照明が40秒間点灯します。)
- 2: (40秒後)照明が消えたら、人感センサに近づき再度照明が点灯することを確認(※トランス電源ユニットの明るさセンサを設定してください。)
- 3: 検知範囲を狭くしたい場合は、エアアカットシールを貼付け

補足

- 初期通電時および明るさセンサ起動時は、人感センサの検知に関係なく40秒間点灯します。その後、人を検知すると30秒間点灯します。
- 人感センサの点灯時間のタイマー調整、連続点灯への切替はできません。
- 人感センサ(熱線センサ)付照明器具との併用はできません。



人感センサに向かって左側の検知範囲を狭くしたい場合

- エリアカットシールの半分を台紙からはがして、人感センサ検知部へ取付けてください。

